

目標達成計画

作成日: 平成 25年 12月 11日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	17	<p>重度化に伴い入浴に職員の2人介助が必要なご利用者が増え、どうしてもお一人の入浴介助に時間がかかり、現状3日に1回の入浴の提供となっている。ご利用者の身体的要因から、2日に1回入浴されているご利用者もおられ、個別に対応を行っているが、評価時に入浴回数への助言があり、再度振り返りを行う。入浴回数と言う課題は、ご利用者がゆっくりと入れる気持ちのよい入浴を行いたい。</p>	<p>ご利用者お一人おひとりの生活歴やペースを大切に、入浴時間がゆっくりと「ああ気持ちよかったな。入ってよかったな。」と思って頂けるような入浴時間を提供する。</p>	<p>①ご利用者に喜んで頂ける入浴について、再度職員間で再確認し、ケアの方向性やモチベーションを同じにする。</p> <p>②入浴時におけるご利用者個々のこだわり、好み、ケア方法(入浴前からの関わり)の情報を職員間で共有する。</p> <p>③よかった声掛け、入浴時に楽しめた話など職員間で情報を共有する。</p> <p>④入浴後は、爪きり、水分補給までの支援、入浴時は、皮膚の全体観察を行なう。</p> <p>⑤2人介助のご利用者は、苦痛のない介助を心掛け、介助方法については定期的に検討を行なう。</p> <p>⑥月に1回の定例会で入浴に関して、検討事項あれば検討を行なう。</p>	2ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。